

高野山

2020 年春号 (第 4 号) spring

発行日：令和 1 年 12 月 12 日

発行者：紀州高野山 横笛の会

和歌山県伊都郡高野町高野山 26-10-304

電話：090-8110-3858

公式サイト：<https://tanbonoie.com/koyasan/>

メール：kukainoiki@gmail.com



横笛の会
वेणुकगण

ごあいさつ 令和 2 年も紀州高野山横笛の会をよろしくお願ひします。横笛の会を平成 31 年 4 月 1 日に設立して 9 か月が経ちました。会員さんはじめ、いつも応援してくださっている多くの方々の支えにより、初年度を無事終えることができ、心より感謝申し上げます。横笛の会は、一口にいえば宗教文化を愉しく体験しながら学ぶ会です。この場合、宗教文化は仏教・密教だけではなくときに神道やインドの原始宗教などを扱うこともあります。さて、会の名前である「横笛」は平安末期の尼僧さんの名前です。横笛は奈良の法華寺で出家・得度し仏道に入りました。仏道に入った契機としては将来を約束した恋人との別離があったと伝えられます。しかしおそらく横笛法尼は、契機とは別に、仏道の奥深さに引き込まれ、祈ることの清冽さに捉えられ、観音さまの圧倒的な慈悲を心身に受け止め成長を遂げた

と思われまふ。かつらぎ町・天野に移ってからの残りの人生も尼僧として信仰生活を続けました。ところで、横笛法尼が法華寺で拝んだ十一面千手観音は、密教伝来より前に日本に伝わった古い仏さまです。その功德は、利己的でない本当に必要な誓願なら瞬時に叶えてくださるといふことがあります。つまり、心ある人がそれぞれよい社会になるよう心からお願ひすれば、そのように時代が動くのです。令和元年は激動の一年でした。新年より、よい方向に舵を切れるかそうでないかは一人ひとりの覚悟と決断にかかっているといふても過言ではないでしょう。観音さまは覚悟をした人、一人ひとりに寄り添い、見守って、どうにもピンチのときには手を差し伸べてくださいます。力を合わせて観音さまに祈り、功力をお借りして、よい一年にしましょう！

(佐藤妙泉)



紀州高野山横笛の会 活動報告

- 3月30-31日 香と瞑想&ヨーガワークショップ 大師教会
※高野ブランド創出事業の最後の催しとして行いました。参加40人
- 4月1日 紀州高野山横笛の会 設立
- 4月1日 高野ブランド「香の護符おまもり」頒布開始
- 4月15日 日本産アロマアドバイザー資格取得
※香の護符おまもりは護摩支具を使ったものと日本産アロマを使ったものの二種類あります。
- 5月30日 香と瞑想&ヨーガワークショップ in 橋本(第一回) 参加10人
- 6月1日 紀州高野山横笛の会 活動案内リーフレット発行
- 6月29日 香と瞑想&ヨーガワークショップ in 橋本(第二回) 参加5人
- 7月12日 龍神温泉日帰りマイカーツアー
- 8月1日 香と瞑想&ヨーガワークショップ in 橋本(第三回) 参加10人
- 8月29-31日 高野山リトリート(宿泊型修行体験&密教文化体験)
参加11人
- 9月1日 横笛法尼オリジナルTシャツ頒布開始
- 10月1日 横笛法尼オリジナル作務衣(レンタル用)完成、催しなどで体験試着開始
- 11月8日(宗派を超えた人生相談会)「坊主 Bar」に参加(岐阜県郡上八幡市にて開催)
- 11月11日 高野山時報(高野山出版社)に寄稿「催しをご供養に」
- 11月14日 生放送のラジオ法話に挑戦(FM橋本)「弘法大師と丹生都比売大神について」
- 11月24日 和歌山県人会世界大会にて和歌山体験ブースに香の護符おまもりづくり出展 参加40人
- 12月1日 天野と高野をつなぐ事業 第一回天野篇 参加10人
神社参拝+香と瞑想ヨーガワークショップ+年末特別お茶席
- 12月7日 天野と高野をつなぐ事業 第一回高野篇 参加25人
修行体験写真会+神仏習合トークセッション+ミニ法要体験
- 12月12日 会報紙(高野山4号)発行

定例供養

- 会員さんの息災を祈る護摩供(原則として毎月一回)
法人会員さんには年末に横笛の会護摩札をお持ちします。
5月21日 6月13日 7月19日 9月25日 11月27日
- かつらぎ町にある横笛法尼の供養塔にて毎月恒例の供養
横笛法尼のご供養会に参加ご希望の方はご予約ください。

その他

人生相談 随時 ご希望により密教修法を活用してお悩みに回答します。
実績 事故による回復祈禱、ガンなど現代病の祈禱、こころの病の祈禱

佐藤妙泉(横笛の会代表)

僧侶(高野山真言宗大僧都)高野山に拠点をもち、修行、密教研究、布教活動を行っている。2020年4月、高野山ろくに新拠点を整備予定。

横笛の会の護符おまもりづくりの手順書が、英語、スペイン語、ポルトガル語に翻訳されました!(11月・和歌山県事業)

Marca "Koya" de Koyasan
Cómo hacer un amuleto fragante
Asociación Kishu Koyasan Yokobue

- 1 Los ingredientes básicos son cinco tipos de las astillas de la madera fragante: bencol (樟木), sándalo (白檀), agarwood (沉香), T字 (T字) and turmeric (姜黄). To add a sweet aroma for enjoyment, we will additionally use cinnamon (桂皮) and spikenard (白芷) in this program.
- 2 Ponga las astillas de la madera fragante poco a poco en una pequeña bolsa de plástico con cierre para mezclarlas. Como el clavo tiene un aroma fuerte, se recomienda usarlo en pequeñas cantidades. Púlsalo un poco cuando mezcle todas las astillas.
- 3 Pase las astillas mezcladas a una bolsita de té con costado de no desarmar.
- 4 Meta la bolsita de té que contiene las astillas en una bolsa de tela y cierre la bolsa con una banda de goma negra.
- 5 Pase unas campanas por uno de los cordones de cinco colores.
- 6 Envuelva cinco cordones de distintos colores (rojo, azul, blanco, amarillo y negro) en la parte superior de la bolsa y fícelos como guata. Recorte los cordones con unas tijeras para que queden bien.
- 7 El amuleto que usted hizo aumentará su salud y felicidad durante un año. También puede disfrutar el cambio de aroma con el tiempo.

"Koya" brand from Koyasan
How to make a fragrant charm
Kishu Koyasan Yokobue Association

- 1 The basic ingredients are five types of fragrant wood powder: bencol (樟木), sandalwood (白檀), agarwood (沉香), T字 (T字) and turmeric (姜黄). To add a sweet aroma for enjoyment, we will additionally use cinnamon (桂皮) and spikenard (白芷) in this program.
- 2 Put fragrant wood powder little by little in a small plastic zipper bag to blend it. As clove powder has a strong aroma, it is recommended to use it in small amounts. Make a wish when you blend the powder.
- 3 Move the blended powder from the zipper bag to a tea bag carefully so that the powder will not spill out.
- 4 Put the tea bag containing the powder in a cloth charm bag, and close the bag with a black rubber band.
- 5 Run one of five-colored strings through bells.
- 6 Wind five colored strings (red, blue, white, yellow and black) onto the top of the bag and tie them as you like. Trim the strings with scissors to give it a final touch.
- 7 The created charm will support your health and happiness for a year. You can also enjoy changes of aromas over time.

Marca Koya De Koyasan
Procedimientos e métodos para confeccionar o amuleto protetor de incenso
Asociación de Fielas Transversal Kishu Koyasan

- 1 Maderas de incenso. São 5 os materiais básicos: bencol, sândalo, pau-de-aguiá, cravo-da-índia e canela. E também, desta vez, será colocado um aroma doce, misturando-se a canela e o nardo indiano, para se poder apreciar ainda mais.
- 2 Para misturar as madeiras de incenso, utilize-se um saquinho de plástico com zip lock. Em primeiro lugar, coloque um pouco de cada. Um ponto importante é moderar a quantidade de cravo-da-índia, pois cheiro seu cheiro forte. Procure então um desajo enquanto mistura.
- 3 Transfira o conteúdo do saquinho de plástico para um outro em forma de saquinho de chá, tornando cuidado para não derramar.
- 4 A seguir, coloque o saquinho de chá com incenso em si dentro do amuleto de pano e amare a boca com um elástico preto.
- 5 Passe o sino em um dos fios de 5 cores.
- 6 Envole os fios de 5 cores: vermelho, azul, branco, amarelo e preto, na boca do saquinho. O modo de amarrar é livre. No final, aperte os fios utilizando a tesoura.
- 7 O amuleto que ficar pronto irá suportar a sua saúde e a sua felicidade durante um ano. Será possível apreciar a mudança do aroma como se passar dos dias. Misture os 7 materiais de incenso, formulando o seu próprio incenso. O número 7 é um número sagrado.



高野ブランド創出事業にて高野山大師堂とコラボして「香の護符」を開発(横笛の会のはじまり)

初年度の横笛の会 記念すべき「第一回」の催し
神仏がお見守りくださり、喜ばれている瞬間の
ショットをごらんください



丹生都比売神社での香と瞑想&ヨーガワークショップ



和歌山県人会世界大会、和歌山体験ブースで香の護符づくりをご指導



第一回高野山リトリート 第2日 大雨が参拝時、止みました!(立里荒神社)



宗派を超えた催し(郡上八幡・坊主バー)で身近なお悩みに回答

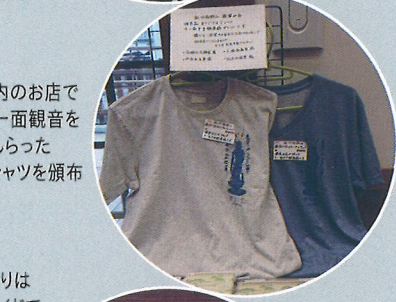


経久印刷さん協力 高野版の印刷体験 活動中の真剣な横顔と終わった後の笑顔が印象的でした!

護符おまもりは、尼僧の手による手づくりがこだわり



護符おまもりは護摩で一年の息災を祈禱済です



山内のお店で十一面観音をあしらったTシャツを頒布



活動時、横笛法尼オリジナル作務衣を貸し出しています

護符おまもりはオーダーメイドで好きな梵字を入れます



高野町歌謡祭に参加



強力なサポートがほしいときには護摩札をお求めください



第一回高野山リトリート 第1日 遠方の会員さん & 山内の会員さん交流会(大滝山の学校)



山内の御菓子司と連携して特製生和菓子を味わえる催しも



大圓院で開催した巡寺八幡トークセッション(天野と高野をつなぐ定例行事)

横笛の会 法人会員(年間一口10,000円~)
高野山大圓院 丹生都比売神社

高野山内(引き続き、募集中!)

※会員特典(ウェブ上での各団体PR、年末特製護摩札の頒布)

高野山大師堂 高野山三光社 石橋法衣店 田輪建具店 森下胡麻豆腐 さぎ波 南峰堂 小堀南岳堂 中本名玉堂 高野山外 西光寺(香川県小豆郡)

思いが観音さまに届くとき

お経は、この世とあの世をつなぎ、僧侶の立場からは、ご供養の際に、亡き人とコミュニケーションをとるためのツールの一つです。たとえば「般若心経」は仏教の各派や神道でもお唱えされることがある、日本人にとってもっとも身近なお経です。般若心経はお唱えすればご供養になると同時に、自らをも守ってもらえる「おまもり」をまとう効果があります。高野山では、日々お唱えするお経に「般若心経」と「理趣経」があります。その他、夕方の勤行などでは「観音経」もポピュラーです。観音経は、その名のとおり、観世音菩薩の妙智力（類のないすばらしい法力）を称える内容です。観音経の中には、子宝を授けてくださるといふ具体的な誓願が書かれていますので、たとえば早逝した魂を供養するときには観音経を用いることがあります。

大日如来の懐に戻った後、すみやかに新たなる命となっ

て生まれてきてもらいたいと祈るのです。こんなことがありました。あるお母さんが流産を繰り返した末に授かったお子さんが2か月で早逝してしまいました。

両親は嘆き哀しみ、いつも早逝したわが子のことを忘れることはありませんでした。その後、あらたに二人の子どもが授かり、やがて父母は他界。月日が流れ、あるとき、50年ほど前に亡くなったこのお子さんの魂が思いを残したままであることが遺族にわかります。赤ちゃんの思いというよりお母さんの思いと色濃く交差したまま残っていました。もっと生きたかったという赤ちゃんの思いがいま頭れ、僧侶や生きている人に訴えてくることがあります。

強い思いを残している場合には、その人だけのために供養を行ったほうが良いようです。私は、無念を感じたままにいる赤ちゃんのためだけに改めて供養を行いました。さらに父母の月命日に観音経もお唱えしました。哀しみや無念さがいかに、陰となって落ち、時空を超えて影響してくる

かが理解できたご供養でした。残されたお子さん方（もちろんもう50代です）は「2か月で逝ってしまったきょうだいの分まで一生懸命に生きていきます」と若返ったような力強い言葉で誓ってくださいました。長い時間が経っていたけど、ご供養ができて心から良かったと感じたできごとでした。

観世音菩薩は、衆生のいる場所や立場、そのときの状況にかかわらず、海にいても山にいても、今なら都市にいても地方にいても、地球上どこにいても、33のふさわしい変化身となり、等しく神通力を発揮して問題を解決してくださるのです。

仏さまによって問題解決の仕方は分かれますが、観音さまの場合は、愛をもって障壁を突き破る光で包んでくださるのです。円い光の中に入って安楽に成仏していくことができます。大日如来の懐に遅くなったけど確実に入った魂は、今度は私たちを見守ってくださる存在となるのです。お経は仏さまと人間をつなぎ、潜在して固くなった問題を氷解します。

横笛の会のMenu

- ◎密教を学ぶ講座 参加費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,000円
※連続講座は割引あり
- ◎香と瞑想&ヨーガワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・参加費2,000円
- ◎香の護符おまもり（完成品）・・・・・・・・・・・・・・・・1,500円
- ◎横笛法尼オリジナルTシャツ・・・・・・・・・・・・・・・・2,000～3,000円
- ◎横笛法尼オリジナル作務衣 現在、レンタル用のみ
※宿泊体験時、作務衣レンタル・・・・・・・・・・・・・・・・500円
- ◎高野山リトリート 一泊・・・・・・・・・・・・・・・・12,000円～
- ◎お困りごとに合わせた相談&ご祈祷・・・・・・・・・・・・・・・・5,000円～
お寺や神社でやってみたいことがありましたらお気軽にご相談ください。